

奨学金について言いたいことカード

・教育は自己責任じゃない！権利です！！OECD の最下層をいく、日本の教育、みんなで変えていかないと！！

・1秒でも早く給付型に！

・奨学金は世界水準の給付型制度にすべきです。

・使う人の立場に立った制度にして下さい。学は将来の国を救うのです。学生に投資を！！

・奨学金を給付されるものになるように、この問題を広めていきたいです。世の中の貧富の差がなくなる事はあるのか。教育も学生も政府の食いものにされている日本の仕組みにガッカリしました。

・名前は奨学金ですが・・・「借りたものは返す」。子の勉学に対する意識がしっかりしているなら応援はしたいが、周りの学生は学校で遊んでいるのを見かける。国や制度をつくり動かすのはこれらの若者。ちょっと不安である。

・もっと誰もが学べる環境となる事を期待します。

・本当に必要な人へ、意欲のある人へ、日本の、世界の、未来のために優秀な人材育成を！

・まず日本はアメリカ、イギリスなどのように奨学金の拡大が必要であると思われる。奨学金の規模が小さいことから厳しい選考が生まれるからである。日本が選考基準として学力を用いている点について「進学したいが学力の低い」者に対して学習機会を奪っているのではないかと考える。

・まず授業料引き下げを！教育費の政府予算の増加を！

・奨学金制度と教育費は子育て世代だけの問題ではありません。みんなで当事者意識を持っていく必要があります。

・大学生の現状、奨学金制度がローンになっていること、教育を受ける権利があるのに生活のためにバイトに明けくれている、何とかしなくてはいけないと思いました。

・利用したのは学生である子どもだが、親の経済状態によって借りたのであって返済して

いる子どもに責任がどのくらいあるのか考えさせられる。

・「学びたい」気持ちがあつて、その「能力がある」人皆が親の収入に関係なく学べるチャンスを与えられるための奨学金制度を！

・本当に学びたい人、能力ある人に給付される奨学金制度を作してほしい。

・奨学金と名前がついた教育ローン

・日本はもっと人を大切にすべきだと思います。人権問題意識が日本は薄い！奨学金に関わらず、人の暮らす、学ぶ、働く、産まれてから亡くなるまで人として守られねばならない。そのことに皆で向き合つて考え行動していきたいものです。

・学ぶまで知らない事が多かった奨学金。高校生を持つ親としてはその子たちに知らせる場を作りたい！

・うちの息子は勉強は嫌いですが、就職のために大学に行きたいと言っています。奨学金という名の借金を自分が将来背負うことになるので、ちゃんと自覚を持って大学に行くように今日の話伝えようと思いました。

・子育てファミリー層の多い自生協の組合員にむけた学習会を開いて奨学金問題について学び考える場をたくさん設けたいです。

・ぜひ、頑張っている大学生が幸せを感じることができる社会を望みます。

・私自身は奨学金を利用していませんでしたが、周りの友人は奨学金を返すのに大変苦勞しています。借りるのが当たり前で借りたら返すのが当たり前という状態は異常です。世界から見ても異常な状態から変えるために現状を周りの人に広めていきたいです。

・奨学金制度は若者だけの問題ではなく、全世代、そして日本の大問題です。すべての人が理解できるような、また納得できるような制度を望みます。この問題をもっとマスコミは報道すべきだと思います。

・子育て支援に取り組む生協に勤める者として、また小学生の娘をもつ家庭の父親として、またパートナーも奨学金を払っていた夫として考えさせられる事だった。九州でも学習することで認識が広がると思うので動きをつくりたい。

- ・奨学金制度を世界標準の給付型のみへ、ぜひ実現したいですね！
- ・自宅外の専門学校生への給付型奨学金もお願いしたい。専門学校の授業料高すぎます。
- ・孫が奨学金を借りています。昨年結婚して、ひ孫が生まれ学校はやめてしまいました。親が借金を払うことになり、電気料、水道料、電話代、ガス代が祖母である私にかかってきました。少ない年金の中でやりくりが大変です。
- ・国の将来を考える時、人材を各方面で育てていくことは急務です。能力のある子、考える子、感性豊かな子いろいろな子どもたちが金銭的な面で縛られ、望みを絶つことなく学びの機会を得られなくてはならないと思います。国も企業も個人も心して考える問題です。
- ・娘が大学進学ありきの高校に通っています。学年トップクラスの子しか無利子の奨学金が出ないと聞いているので、有利子しかないなと思っています。希望の大学に入れず、別の低レベルの大学に奨学金もらって入れるよりも働いてもらった方が良く私は思っていますし娘にも伝えてます。
- ・子ども2人が私立（県外）に入りましたが、「返すのが大変」と聞いていたので奨学金は利用しませんでした。小さい時から学資保険などで準備するようにして乗り切りました。
- ・すべての子どもたちが教育を受けられる社会にしなければいけないと思いました。
- ・外国人からは驚かれる日本の奨学金制度。世界の大学の授業料は無償だそうです、制度が作られた当初から無償だったのでしょか？
- ・有利子導入で取れる可能性のあるところから徹底的に収入あげようという仕組み、ひどすぎますね。
- ・住民税非課税世帯は6万人くらいいるというのに、2万人しか認めないという制度は全く不十分です。せめて年収200万円以下の世帯にはすべて適用してほしいと思います。
- ・私は市町村から借りていたのですが、全体の1割ということでレアケースということが分かりました。大学受験から卒業まで自己負担だったので奨学金に大変助けられました。未来の子どもたちも学ぶ自由を手に入れられるよう取り組んでいきたいと思いました。
- ・高等教育に関する私的負担や支援のあり方は、格差の拡大と階層社会化の中で大変本質

的な問題だと思います。

- ・大学を卒業していざ奨学金を返すとなって合計の金額とそれにかかる利子に驚いたことを覚えています。奨学金を返すために不幸な状況におちいることのないよう、支援のしくみの実現を望みます。

- ・少子化なので、社会を支えるためにも高等教育を安心して受けられるようにすることは必須だと思います。

- ・子どもに責任はないので早く改善してほしいです。

- ・金銭的なもののために、自分の大切な思いや夢をあきらめるのは本当に辛く、背負うのも（借金を）苦しいことです。義務や責任だけでお金は払い続けられるのではないと思います。

- ・私の息子も東京の大学にいて奨学金を借りています。月 5 万 4 千円借りていますが、多分少ない方だと思います。テレビなどで 1 千万近く借りていて結局返済できず連帯保証人の親も返せず自己破産になるケースもあることを知りました。日本は若者に冷たすぎます。将来を担う若者たちにもう少しお金を使うべきだと思います。

- ・奨学金の返済に苦しむ人が居る中で、多額の所得が有りながら返済が免除（公的なもので）されている人がいることに疑問を持っています。教職関係の職に就いている人には率先して返済してもらうべきです。

- ・子どもが生まれたら親が計画を立ててそれに向けて家族が協力し、目標を達成することも必要だと思います。今や子どもの医療や教科書、授業料の無料などいろいろ節約や貯金などすると以前よりも子育てもしやすいと思います。アルバイトをする事もお金や時間の大切さ、社会や人々に関わることで感謝など数多くの事も学ぶことがあると思います。奨学金を利用する時もしっかり計画を立てて頑張ってください。

- ・我が家は 4 人のうち 3 人が月 10 万の奨学金を利用して私立大学と専門学校を卒業しました（4 人目の末子は現在高校生ですが恐らく利用します）。皆、卒業と同時に 480 万の借金持ちです。我が家のような裕福ではない家庭にはありがたい制度であり、現在問題なく返済を続けていますが、長い返済、何事もなければいいですが・・・と不安はあります。奨学金どころよりも大学・専門学校の学費がかかりすぎ！！何とか工夫してもっとお金をかけずに進学できるようにするべきだと思います。

・学生気分が抜けきらない時から借金を返す事を考えなければならない生徒（高校、大学）がいる。私は娘にそんな心配はさせたくない。借りたら返す・・・親も大変です。何とかみんなに「給付」できないでしょうか。借りずに終わりました。月 15 万送ります。

・私の娘 2 人は県内の短大、専門学校へ進学でしたので奨学金は利用しませんでした。私の職場（保育所）の 20 代の子たちは毎月 2 万円～6 万円を返済しています。その中で正規雇用はわずかでほとんどが臨時職員です。20 代から収入の中からローン返済。これでは結婚も…。おかしい制度は改めるべきです。大学生も少ないという少子化なのになぜ？我が国はおかしい！

・親の資金力に関わらず、進学を希望する学生本人の奨学金の「給付」と「無利子」の 2 本立てにしてほしい。成績優秀で卒業した学生には「半額給付、半額は無利子の貸付」が良い。また、奨学生にはボランティア活動などを義務づける。（ただし、それぞれの事情は考慮し、活動については選択の幅をつける。）税の乱用は避けたいが、今の日本の教育費は高すぎる。奨学金は給付と無利子貸付の併用を願います。

・奨学金を借りたのに返還しないというのが理解できない。どれだけ厳しかろうと借金を返すのは当たり前。貸した側は返さない人には“厳しく”という態度が効果的であるかを考えるべき。時代がかわればルールも変える。利息を増やすことでの将来的なメリット・デメリット、借りている人への影響を考える頭が必要。

・奨学金問題は「ギブアンドテイク」「見返りの関係」で考えるべきではないでしょうか。私はそれが基本だと思う。例えば、地方企業で何年間か勤めたら見返りに奨学金返済を免除するなど。

・私たちの時代（69歳）と違って、今は随分厚い支援を受けられるようになっています。子どもを教育するのは親の責任。今までは最高教育を受けさせたくてもできなかった。家が貧しかったため本当に奨学金を必要とする子どもたちのことを考えるなら借りた物は返すのは基本だと思う。あとは最高教育まで国が無料にする政策をお願いしたい。

・わが家はUターン家族なので、再就職先にはボーナスがなく、夫婦とも最低賃金クラスの給料しかありません。しかし、1人息子の夢を叶えるため4年生大学へ進学させました。私は身体障害者手帳を交付されている障害者です。また、主人も私も持病を抱えており、一生病院とは縁が切れません。お陰様で「無利子型」の奨学金を借りていますが、卒業後の本人の返済を考えると気が遠くなります。自宅から通える所に大学がなく、大阪へ行っているのです。生活費も大きいです。「給付型」が増えるといいですね。期待しています。

・向上心のある学生に対して国は手厚い支援が必要と思う。先進国の中で日本の教育に対する公的支援は非常に遅れていることを痛切に感じる。給付型の奨学金の拡大を望む。

・学校の進学率の事もあり、点数が高くなくても簡単に大学を勧める学校側にも問題があると思います。教師になれば返さなくても良いと聞いたことがあります。おかしくないでしょうか？若い人を育てる社会の最低限の努めとして借りたものは返すように教えるべきだと思います。

・私の子どもたちも奨学金を借りて大学を卒業しましたが、なにしろ返済額が 6 万とかで時々返済に苦勞しています。勉強のため借りたのに・・・給付型にすべてすべきだと思います。奨学金はただの重い借金になりました。かわいそうに思います。

・長女は有利子型を借りました。長期間返済しています。せめて利息がなければなあと思っています。

・マスコミの報道などで日本の貸与型奨学金は奨学金とは名ばかりのヤミ金のような気がします。そもそも学費がこんなにかかる国は世界でもわずかです。人生のスタートラインがマイナスから始まるなんて！国立大の授業料も高いと思います。“経済的徴兵制”につながっているようで不安です。

・ワーキングプアが今まさに子どもたちを苦しめています。就職できなくて帰ってきてアルバイトを 4 年し、その後県外に行って就職しましたが、十数万から家を借りて奨学金も引かれるとお昼を食べる事ができないので家からおにぎりを作って持って行ってます。一年がたちましたが、職を変えない限り少しも楽になりません。家にいてアルバイトをした方が楽なのですが、年金などが支払えません。不安です。

・私も借金付きでお嫁入りしました。大学では無利子の奨学金を借り、あと 2 年で返済が終わります。正社員から転職し非正規で働いていますが、返済を滞ったことはありません。延滞者が増加しているようですが、同じ立場の者からすると不公平な気がします。こちらは必至で返済しています。返済しないと奨学金制度も破綻すると思います。返済のためにも働いています。ちなみに私の通っていた大学では給付型の奨学金制度があり、そちらも 4 年間とても助かりました。

・子どもが 3 人年子です。長男は今年大学へ、後 2 人続いています。奨学金を受けたいと思いましたが大学によって貸与できない所もあり、推薦だから適用しないとされました。本人が頑張って勉強して受けられないなら、貸与できる学校が良かったかと思いました。

・「有利子型」奨学金の返済が契約通りに返金している者に対して「無利子型」に変更しても良いのでは？返還しない者には厳しい請求を。

・今の奨学金制度では破産する子や家族が多くいると聞きます。とてもそんなお金を借りて子どもに借金をさせてまで大学に行かせようという気持ちになりません。でも、今の時代、高校では専門学校か大学へ行くのが当たり前のようになっています。それなら何とかみんなが大きな借金をせずに大学に行ける制度を作っていただきたいです。

・借りるのも大変だし、利子もつけて返さなくてはいけないし、子どもの進学はお金との戦いです。子どもの数とか収入とかでいい制度を作してほしい。

・私は無利子で奨学金を利用し返済していますが、返済額が今 15,000 円弱でこれが 2,000 円になるならとてもありがたいです。子ども 2 人いて夫婦共に福祉士の私たちは他の民間企業と比べ賃金が低い（2人で28万程）ため、今家計にとっても響いています。そもそも、私たちには関係ないことなのか？今、返済している人もその制度！！

・奨学金と国民年金のダブルで支払う事を学生にきちんと伝えていける場を地域で作りたい。

・奨学金はリスクもあるので、借りる時はなるべく金額を少なく返済の事を考えて！

・借りたら返すのは当たり前。責任を持って返してほしい。

・早く給付型の奨学金ができるといいです。わが家は息子に代わって返済中です。上の息子が借りた有利子分は繰り上げ返済しました。下の子の分は無利子ですので気長に月12,000円程返済しています。退職が近いので繰り上げ返済しようかな！

・学びたいと願っている人がお金のことで生涯にわたり苦しめられるのは社会全体として見過ごせない問題になっています。税金の集め方、使い方にもっと関心を持っていきましょう。

・今後は給付型が主流になるように！

・給付型の予算を取って、10万円でも20万円でも給付を受けられるようにしてほしい。返済期間が長いので、利率の方式の見直し回数を増やしてほしい。

・中には安易に借りている家庭もあるように思います。

・格差社会が無理して大学行かせているのかどうかは分からないが、大学に行かないと生活が苦しい世の中がおかしいんじゃない？借りたお金は返すのが基本の考え方だと思う。何甘えた事言ってるのと言いたい。返済額も頭に入れられない人が大学に行ってどうするの？

・教育は未来の希望を紡ぐこと。税金の使い方を変えろ！給付型の大幅導入！そもそも大学の授業料に国庫負担を！

・給付型奨学金制度創設の報を聞いて、早速当生協の機関紙のライフプランニングコラム原稿を作りました。奨学金について調べている時、返済者の投稿などを見て涙ぐみました。まだ10代の世の中に出てもいない子たちが重い鎖にとらわれて悲鳴も苦悶も飲み込んでいる姿が垣間見えて・・・微力ながら私も広報の一端を担いたいと思います。

・実状を知る者としてとても助かったこと。苦しい時に貸与があつて何とか卒業できた。今後の動向が気になります。

・今回のセミナーの様な切り口も大切だが、正しい奨学金の知識と後悔のない利用の仕方をライフプランニング学習会で講習することや学校で生徒に教えることも大切だと思います。上手に利用すれば自己破産も減るでしょう。国庫が減っているのに給付型なんて大丈夫か心配です。知恵も使いたいものです。

・我が息子が無利子が借りられず、大学2年の時に有利子を自分で申し込んだ経緯があります。毎月3万を3年、卒業時に夫が100万を渡し、これで返せと言いました。息子も夫もいい勉強だったと思います。

・まず奨学金という名称が良くない。奨学金は借金である。借りたら返す、これは基本だ。「学ぶ権利」とよく言われるがこれもどうかと思う。大学がすべてという風潮が奨学金問題にも大きく関係していると思う。国立大学の授業料高すぎ！！

・返済しなくてもよい奨学金を毎年すこしずつでも増やしてほしいし、せめて無利子にしてほしい。利子を払うだけでも大変だと思う。学校の方ももっとちゃんと就職ができるように指導が必要だと思う。

・貸与でなく、scholarshipになる事を望みます。親の収入に関係なく平等に子どもたちは

学べるべきです！！

・借りる時の学力より、大学在学中の学力・意欲によって、無利子に変更が可能になれば良いのにと思ったのですが、難しいな～

・国の将来を担う子どもたちの教育は、国が担うべきだと思います。ただ現在の日本は貧富の差が大きいので、一定の所得制限を設定した上で平等な教育機会を与えていってはどうでしょうか。

・現在を知ることができ驚きました。返済についてもっと良い方法はないかと考えさせられました。

・本当に学びたい学生には支給型の奨学金が必要だと思います。親は高い学費や生活費を出してやりたくても低賃金では出せません。社会人になって何百万もの奨学金の返済ができる収入が得られるとは到底思えません。

・奨学金は「未来の子ども若者を育てる」という視点で考えるとタダにすべきです。ただし、勉強するのが目的であって（現状はそうなっているとはいいがたい）、本来は高校大学の入学は自由にすべき、ただしその学習到達度に応じて進級・卒業をきちんと厳格にすべき。現状はそうなっていない日本の実情を大ナタを振って改善しなければ・・・と思うが難しい。

・安倍総理は少子高齢化対策を本気で取り組むとは思えません。貧富の差が増すばかり。大学に行きながらアルバイト、就職できても低賃金、奨学金返済で貧困生活続きます。結婚して子どもたちと共に暮らすなど夢の夢。奨学金の拡充を切に望みます。

・子どもがめざしたい夢に向かって応援したい気持ちと裏腹に、経済的な面で悩み奨学金の利用をせざるを得ない今の時代に、卒業と同時に多額の借金を背負わす事は悲しい事だと思います。未来ある子どもに夢を持たせられるような制度を望んでいます。

・奨学金というものはありがたいが、その中身をもう少し学生目線でその後社会人になった時の負担の大きさなども考えて見直してほしい。

・卒業後の返済の軽減を考えていただきたい。働き出してから返済は非常に厳しい。もう少し学びやすい環境を考えてほしい。

- ・ 貧しい方は学べないの？日本の将来が心配です。
- ・ 学べる人、学べる環境の中にいる方々は不要であっても、貧困（経済的）な方へは学習は必要でないのでしょうか？施策に一考を！！基本的人権の尊重を・・・
- ・ 奨学金を借りる条件をもう少しゆるくしていただきたいです。
- ・ 返済義務のある奨学金を抱え、低賃金・非正規雇用が多い現状で返済の負担は大きいと思う。返済が始まる将来の経済状態を見越す事は困難なので、何らかの負担軽減も必要かと思うが、ストレス社会で働きたくても働けないなどの問題もある。奨学金を借りる時に親子でよく話し合いをしなければと思う。
- ・ 仕事に就いても奨学金を返すことが大変だというニュースをよく見るので、負担を軽減できるような制度があればと思います。
- ・ 欧米のように返済しなくてよい奨学金にするべき。きちんと学びたい人が学べてしっかり働けるようにすることが未来へつながる。
- ・ 私の子どもも将来は大学に進みたいと言っています。今の経済状況ではおそらく奨学金を借りることになると思います。でも、ニュースで奨学金の支払いが大変で大学卒業後の生活困難の人が増えているとよく聞きます。それではせっかく大学まで出た意味がないように思います。大学の授業料が高額すぎるのも問題なのかもしれませんが、子どもたちが安心して勉強できるように、またお金のために大学進学をあきらめることがないように制度を見直してほしいです。
- ・ 奨学金が学費が高く返済が苦しく卒業後も返済に苦しんでいる事態が起きている現状をテレビで見ました。ローンにならない奨学金給付制度を要望します。
- ・ もう少し幅を広げて制度自体を見直していただきたい。
- ・ 米の顔色や機嫌ばかり伺い、軍事費の割合が増えていく安倍政権。将来の国を支える人を育てるためにも奨学金の見直しをもっと改善するべきと訴えたい！
- ・ 奨学金について、私はそういう制度があるということを知っているくらいで、今回このような機会に調べてみましたが、奨学金にもいろいろな種類があり、内容も違いがあり難しくややこしく感じました。そういう制度があるのはいいと思います。

・奨学金について返済をしていくことになるが、もっと無利子にしたり給付の幅を広げていく必要があると思う。

・奨学金を返済できない家庭が増えているので、給付を増やすか貸し出す時に返済方法を具体的に、何円×何か月というのを明記するのも必要だと思います。

・社会人になって、これから「学んできたことを生かして社会のために頑張ろう」としている若い人たちにとって、働く前から大きな借金を抱えていると希望や意欲にもつながりません。心から世の中のことを考えている人をもっともっと増やすためにも給付型の奨学金を増やしてください。日本の未来のために必要です。

・学びたいという若者を応援し、夢に繋げられたらと思いますが、“返さなくていい”というのはおかしいのでは、と思います。アルバイトに追われて学業がおろそかになるのもおかしいし。“大学で学ぶ”ということ、“働く”ということから考え直さないと、意味のない負担ばかりが増える制度になってしまうと思います。

・未来の希望である子どもたちに学びの場を作ることでできる奨学金になってほしいと思います。今は未来の借金を抱えてしまう制度！？希望が持てません・・・

・卒業した後苦しい思い（借金を返すために）をする若者が増えないような制度になるように、国で考えていただくように望みます。

・長男が有利子で長女が無利子の奨学金を利用し、現在就職して支払っていますが、負担は大きいです。親の資力で子どもの将来が決まるのは不安です。

・子どものために用意しないといけないお金が高すぎます。奨学金も含めて負担感を無くしていかないと、子どもを持つと思う人が減っていく一方だと思います。

・経済的理由で学ぶ機会が奪われるのは、将来の日本を担う子どもたちにとって不平等です。雇用形態も様々な今の時代で、学ぶ環境は整えるのが“大人の役割”だと思います。

・そもそも奨学金を借りなくても学びたい子どもが学べる社会にしてほしい。やりたい事がないからまだ就職したくないから、とりあえず大学・・・というのはどうなのかと・・・本当に学びたい子には給付型の奨学金にしてほしい。

・親の収入の差によって教育が受けられないことはあってはならないことだと思います。

希望する誰もが費用の心配がなく大学へ行ける制度が必要です。

・奨学金制度はとてもありがたい制度だとは思いますが、夢を持って社会を出る第一歩から借金を抱えなければいけないというのは、若者にとって荷が重いのでは、と思います。せめて、優秀成績卒業学生は負担を軽くする制度があってもいいかなと思います。

・奨学金といえば、私たちの時代はあまり身近な話ではありませんでした。それが今では2人に1人が・・・の時代に・・・。これからの日本経済を考えると明るい未来が待っているのか？自分の子どもの事を考えると将来が不安になります。

・学生の夢や将来を応援する事を目的とするのならば、給付型せめて貸与型でも無利子になる事で本当の意味での応援になると私は思う。

・今回、学習資料を読んで奨学金というものがイメージしていたのと全然違って驚きました。就職のための大学ではなく、将来国を支えていく人材を育成する場として、国はもっと注力してほしいです。

・無利子の貸与型奨学金の拡大を早く実現できるよう求めます。

・日本の学費は高いので、奨学金があれば助かる。でも、有利子だと後に返済が不安なので無利子になればまだ安心して借りられる事ができると思う。

・大学に行かせるにはすごくお金がかかるのは分かるけど、まだ子どもが小さくピンときていない。資料を読んだら少し難しく大学に行かせるのが少し怖くなってきました。

・子どもたちの未来のために！意欲向上できるように！学費の引き下げと無利子返済を願います。

・一時的な奨学金制度ではなく、10年20年先を見据えた制度づくりを考えなければならぬ時が来ている。

・返金しなくても良い奨学金が話題になっています。学びたい子どもたちのためにも負担の少ないものが増えてくれると良いと思います。

・学びたい意欲のある子どもたちのための奨学金であってほしいです。大学の在学中の成績によって新たに借りられる制度や、有利子型→無利子型への変更可（逆もありで）だといい

と思います。

・学生の中に大きな借金を抱えることになるのはとても負担が大きい。奨学金制度を受け
るリスクを認識できているでしょうか？

・最近よく耳にするようになった言葉の中で奨学金難民という言葉があります。資料を読
んでいて大学にこんなにお金がかかることや、金利が高くはないけれど決して低くないこ
とを知りました。高校から奨学金を借りると一体月々いくら返さないといけないのかを考
えると、しんどいと思います。職についても続かない、というのも大きな問題でもあると
思います。

・貸与型の奨学金は就職後の返済が大変だとよく聞きます。本当に勉強がしたくても生活
が苦しい方には少額からでも給付型の奨学金という選択肢を！！知識は何者にも奪われな
い財産です。

・海外では学費は無料（ヨーロッパでは大学生・留学生に対しても）という国もあるのに、
先進国である日本は遅れている。子どもは日本の未来を支える存在なのに・・・

・本当に奨学金の必要な境遇で学問する意欲のある場合のみ「給付型」が良い。「貸与型」
は無利子にするべき。

・借りたお金を返すのは当たり前だと思います。でも教育を受けるために借りたお金に利
子までつけなくてもよいのではないかと思います。

・現在では大学進学がほぼ当たり前になっているので、奨学金という制度ももちろん必要
ですが、大学入学に際しての学費など国からももう少し支援してもらえるようにしてほしい。
少子化で小さな子の支援ももちろん必要ですが、大学まで親の負担は続くのですからそこ
まで国も考えてほしい。奨学金、給付型をもっとたくさんの人に！！

・大学の学費をもう少し見直してほしいです。奨学金無利子にしてあげてください。

・雇用が不安定な経済状況下で、大卒者であっても就職には不安があります。有利子での
奨学金は親にも学生にもとても怖い借金でしかありません。

・中高生のうちに親子でお金に関する学習の機会をもっと具体的に参加（シュミレーショ
ン含め）する勉強会があればいいなと思います。

- ・奨学金を返済する、しないよりも大学の受講料の見直しなどをすすめてほしい。
- ・大学の学費高すぎ！！
- ・いろいろな種類がありとても分かりにくい。給付・無利子ならともかく、利子があるものは“借金”を背負わせることになる気がしてしまう。少子化なのだからこそ制度を改善してほしい。
- ・学生の負担を減らすために利率の見直しを。
- ・奨学金を借りたために苦しい思いをするのはなくなったら良いです。両親の所得に関係なく、国などから大学のお金を出してほしいです。
- ・就職条件で大卒が多くなっている時代の中で、本人、親が将来の進学のためにお金を貯める努力をする事はもちろんですが、進学時点で状況がどう変わっているかは分かりません。どんな状況でも進学したいのに経済的理由で進学をあきらめる事がないような安定的な奨学金制度をお願いしたいです。
- ・奨学金を借りると大学を卒業した時点で莫大な借金を背負っているようなもので、結婚することもあきらめるという話をよく聞きます。どんな家庭状況でも満足できる教育を受け、未来に希望をもてるような奨学金制度であってほしいです。
- ・子どもたちに大学進学チャンスを広げてくれる奨学金はとてもありがたいのですが、それを返済するのに子どもたちが重い負担とならない様な仕組みになる様願っています。
- ・現在奨学金を返済できない人が増えていると聞きます。無利子であったり返済をしなくてもよい制度ができたり、奨学金を受けた人の将来がお金のために苦労しないですむようにもっと大きく開けたらよいなと思います。
- ・私の子どもは今小学3年生と幼稚園年中なのですが、後10年後には奨学金制度がどうなっているのか、教育費がどのくらいかかるのか、とても不安に思います。少しでも子どもたちに負担がなく学べる環境を親として与えていけたらなと思います。
- ・子どもに借金を背負わせたくない。奨学金と聞くと聞こえは良いが実態が借金となると利用したくない。実際に大学でかかる費用を考えるともう1人産みたくても産めなかった。自分の就職時、借金がなくても1人暮らしで大変だったので、そこに借金が何年も続くと

なると貯金もできず大変な思いをするのは目に見えている。

・母子家庭や病気など、様々な事情もあり、昔と比べて大学も増えて希望すれば入学できる時代で進学率も上がり、一概には言えないが、産まれてすぐ進学する訳ではなく 18 年あって学費が必要なのに子どもに有利子の借金を背負わせる親世代に疑問を感じます。実際啓蒙活動しているのは保険会社など営業の一環として行うのが多く、危機流しどうにかなると考えがちです。公的にでも貯蓄や備えを促す制度を作るべきかと思いました。

・奨学金を受けて勉強するなら最後まで自分で返す気持ちで望んでほしい。

・子どもが 4 人いるので、将来の教育費はどうなるんだろう・・・と不安に思っています。夫は「大学に行きたいんやったら奨学金を借りればいい」と言っていますが、この冊子を読むと奨学金を借りると卒業後の生活が大変になるという事もよくわかりました。高等教育の授業料が安くなればいいのになと思います。奨学金もせめて利子がなくなれば良いのになと思います。

・「夢」や「将来の目標」の事を考えると、奨学金が借りられる事によって諦めずに「進学」の事を考えて視野に入れる事はできるが、現実安定した職や自分に合った職につけなければ奨学金の返済がしていけるのだろうか、とても不安になるからどうしてもためらってしまう。

・私は私立大学理系かつ自宅外生として学びました。奨学金は運良く利用せずに（学内支給あり）すみましたが、現在子ども 3 人。3 人共に同じように行かせられるのか不安でいっぱいです。社会に出た時、借金まみれというのめかわいそうです。今はできることをしていくしかないのでしょうか。社会も少しずつ変わっていくといいなあと思っています。（期待です！）

・学費は高く、学費の私的負担も高い国なので他の無償の国も見習って子どもに優しい国であってほしい。奨学金を借りて返すのに大変苦労している話をよく聞く。借りやすくするのめ問題だと思ふ。

・日本の奨学金制度はとても厳しいという事が分かりました。なぜ日本の大学は世界と比べて高いのか？大学の学費と共に奨学金も改善すれば行きたい人が行きやすい。

・子ども 2 人の大学費用には奨学金を利用した事がないので、奨学金制度や利子については何の知識もありません。ただ娘の夫は奨学金を利用していますが利子が安いので助かつ

ているとの事でした。

・私自身、実家が裕福ではなかったので当時の育英会奨学金を4年間利用させていただきとても助かりました（現在は完済）。奨学金制度は主人が経営者であるため、とても心強い制度です。子どもが進学時に収入が安定していない可能性もあるからです。生協で配布された資料を読み、私が学生だった頃と学費、親の収入、就職率や賃金について厳しいご時勢だということは分かりました。子どもの数に対して、大学の数が多すぎるのではないかと常々思っています。質の良い大学もあればそうでない大学も増えてはいないでしょうか？大学は社会に出るまでの最高学府として、あるいは社会で役立つための基礎的なチカラ（知識や人間力）を学ぶ場としてあってほしいですし、そのために大学数を減らしてもいいのではないかと、とも思っています。大学でなくても、専門学校のように技術を習得して即戦力として社会に貢献できる場もあるので、そういうところにも奨学金が出てもいいのではないかと常々思っています。

・奨学金を無利子で借りられたら、家の収入によって学校に行くのをあきらめずに行くことができるのではないかと思う。奨学金の申込書を普通のプリントを配るように配られるそうです。内容とか説明しているのかな？

・奨学金というのは、大学へ進学したいけどお金が払えない人への善意で無利子で貸し出される制度だと思っていました。卒業後の返済に苦勞するなら、ただの借金でしかないような気がします。気軽に手を出せないなら進学も諦めざるを得なくなる人も出てくるのではないのでしょうか？

・将来の夢をあきらめなくても良いように、高い金利の奨学金制度が改良されることをお願いしたいです。

・学びたい子どもにはお金の心配なく学べる社会に

・子どもに借金を背負わせたくないでお金の心配や負担なく学べる社会になってほしいと思います。

・子どもによりよい教育を受けさせるため、お金の心配なく安心して未来へ進める制度を！！

・早く返済が終わってほしいです。支援するならせめて無利子。ただの金貸業になってる気がします。

・息子も娘も返済中です。22歳から42歳まで20年間。大きな金額に恐怖さえ感じます。地方から進学する人は本当に大変です。

・母子家庭の大学進学は特に費用が大変だと思う。無利子で貸したらいいと思う。最近は経済的に困っていない家庭も借りている人がいるので調べて貸したらいい。

・日本国内だけでなく海外で働こうとするなら、なおさら学歴・学力は必要だと思う。社会人になり数百万単位の借金があることはとても心理的にも負担が大きすぎるので、国としてどのような仕組みを作れば良いのか国民も一緒に考えていく必要があると思う。

・私自身、奨学金は借りていませんでしたが、借りたお金は必ず返済するべきだと思います。教職につくと返済不要だったと思うのですが不公平な気がします。(あくまでも借りたものは返す！)

・私も過去に奨学金を利用したことがあります(大学から無利子のもの。返済は終わっています) 学ぶ志のある若い学生さんの気持ちを大切にしてくれるような制度に変わるといいですね。

・有利子型の奨学金の利子の利率の上限が高すぎると思います。学ぶ気持ちのある学生さんには、給付もしくは無利子としてほしいです。国や地方で支えてあげてほしいです。

・勉強する気のある、やる気のある若者が、さらに安心して学業に励めるように、奨学金制度を日本でも充実させていった方が良くと思う。特に延滞金の高さには驚いた。延滞金とペナルティはそこまで高なくて良いのではないかな。無利子の貸与型の拡大、給付型奨学金の創設を望みます。

・大学全入時代と言われているので漠然とうちの子たちも大学に行かせなくてはと思っていましたが、大学の4年間でこんなに莫大な金額が必要とは思っていませんでした。給付型、無利子の貸与型奨学金の拡大はもちろんのこと、大学学費の高騰もなんとかしてほしいです。

・まず、借りる前に親がある程度教育費を用意していく必要を考えないといけないと思う。車や高級家電に使うお金を回すべきだと思う。その上で、奨学金を借りるなら返済のことを本人と確認しておくこと。高等教育への公的支出をもっと増やしてもらえよう国に働き掛けたい(学費負担)奨学金制度はとても良いことなので無償もしくは無金利での貸し付けを希望する。

- ・OECDに属する国の中で日本だけが授業料有償、かつ国による給付型奨学金制度がない。どうしてですか？と言いたいです。所得連動型返済制度は有利子の奨学金利用者が必要であること、無利子の貸与型奨学金の拡大、高校生の奨学金制度の拡充・改善が必要である。
- ・学生が学ぶ学校に行くために利子をつけた奨学金を借りるのはどうなのかと思いました。
- ・本当に必要な人に正当な条件で与えられるものであってほしい。
- ・大学に行くための塾代等々を含めると、負担はさらに大きくなります。費用の問題で学ぶことをあきらめてしまう学生、またあきらめさせようとする親が少なくなるようにもつと公平感のあるシステムを考えてもらいたいです。
- ・子どもたちが社会に出てから困らない様な制度を考えてほしい。無利子の奨学金制度を利用できる学生さんを増やしてほしい。
- ・現在の日本の奨学金制度はあまりにも問題が多すぎる。せめて奨学金は無利子にするべきだと思う。また支払い方法も元本から払う方式にするようにして、負担を軽減すべき。国は本気で少子化対策をする気があるとは思えない。やってることがバラバラ。場当たりすぎて理念が無い。
- ・ぜひ無利子の奨学金枠を増やしていただきたいです。
- ・日本は教育に使う税金が少なすぎる。学費が高い。子どもが生まれてすぐ郵便局で積み立てをしたが足らなかった。奨学金は借金になるので借りなかったが学費を払うのが大変だった。また大学での部活も遠征、旅費や道具などお金がかかり、生活費や学費以外にもすごくお金がかかるので大学での学生生活、お金がないと続けられない。
- ・せめて無利息ですと負担が少なくなりより良くなるのではと思います。
- ・日本の大学にかかる費用がとにかく高い。近年では国公立大まで私立大と差がない。奨学金の必要性が大きいので、国はもっとこれから社会を担う若い力を優遇すべき。
- ・自分の子どもが社会人になっても返済しているが、毎月の返済額を考えると事前に詳しく本人に説明していただきたい。
- ・とにかく学費が高く無利子はもちろんだが奨学金の返済の苦勞が無いようにしてほしい。

・ドイツは学費が無料であるため、30代になっても学生である人も多く就職率は低い。従って学費を無料にするのは解決策ではない。大半の若者がお金を支払えず高卒になれば高卒での就職が先にも増えると思うのだが？無理に大学へ行くから悪循環になっていると思う。大学へ行かなくても学ぶ方法もある。一人一人が本当に自分が何がしたいのかを考え、本当に大学へ行く必要があるのか考えた方が良く。私学の先生の給与はなぜ高くする必要はあるのか？以上のことを踏まえつつ奨学金は給付型のみでなく本当に学びたい学生には成績結果、論文、社会貢献など在学习中にすることで給付すれば良いと思う。学歴ラベル、そんなに必要かな？高卒で社長になっている人だって沢山いますよ。大学にいかなきゃって思いすぎ。

・難しいことはよく分かりませんが、全国民が不安なく、奨学金を利用するなら利用でき、国として卒業してから返済ができない人に対して就職先のバックアップ強化、無利子を強く希望致します。

・給付型奨学金制度が創設されることを望みます。

・私立大、特に理系は授業料の負担がとても大きく、奨学金制度は有り難いと思います。親はなるべくなら全額負担してやりたいと思うが、いろいろな事情が重なった場合は制度を利用せざるをえない。

・金銭的理由で進学をあきらめるのは確かに避けたいが、返済についての責任がしっかり考えた上での奨学金であってほしい。ただ就職難を思うと本当に返済が難しいのだろうし、税金にも限りがあるし・・・奨学金の中から保障代を差し引いて返済の保障をしてくれる機関保証はいいと感じました。

・結婚後まで支払続けなければならない奨学金って？個人的には教育費は親が最後まで負担してやりたいし学校からの免除制度の充実が望ましいと考える。

・まだ子どもが小学生でよく知らないことばかりで、もっと詳しく聞ける機会があればいいなと思います。

・子ども3人いると経済的理由で学資金などに利用したいけどまだまだ先なので今は全く考えてません。将来は子どもたち本人が決める事なのでその時に考えるけれど、近い将来もどようになってるかも分からないので・・・

・進学意欲はあるが経済的に厳しい学生に対し給付型奨学金制度をつくること。貸与型奨

学金は無利子になることを求めます。

・高校・大学と奨学金に大変お世話になりました。学費が高く、奨学金に頼らざるをえない方々のために、給付型奨学金の充実を願っています。

・所得により教育に格差が出てくることは昔から言われていましたが、学びたい学生に学業専念できるよう給付型奨学金制度を創設しなければ国民の力はますます脆弱なものとなっていくのでは？教育に力をいれてこそ先進国です。

・せめて無利子になってほしいと思います。奨学金の返金をしなくていい職業があると聞いたことがあり、それもフェアではないと思います。

・自分の子どもはまだ小さいですが、これから先の事を考えると他人事ではないし、奨学金制度について改善されていく事を切に願います。

・教育にかかるお金は1人につき1,000万くらい奨学金制度で補てんしてもらえらるなら助かります。

・夫が有利子の奨学金を利用していたため、結婚後、子育てをしながらの返済は結構大変でした。貧困が問題になっている今、奨学金は大変重要だと思いますが、個人的には給付型を増やすよりも無利子の貸与型の充実が良いと思います。将来の所得に見合った形で稼ぐことが出来るようになれば返済するべきだと思います。

・奨学金制度は貧しい人たちのための制度だと思っていましたが、返金で苦しんでいる人たちがたくさんいることに驚きました。外国では学費の私的負担の少ない国も多いようなので、日本でも制度を見直してほしいなと思いました。

・経済的理由で困難な優れた学生に対して学費の奨学金を有利子無しにするのは大いに賛成です。社会の大きな問題として考えていくべきだと思います。

・奨学金という言い方をしているが結局は奨学金＝借金。借りる方も貸す方も先を考えて貸し借りしなければいけない。実際ほんとうに大学資金にあてられているかも調査した方がいいと思う。今の不況の中で将来負担になるようならもっと考えないといけないと思う。

・勉強したい人が学びやすくなるように奨学金を無利子にし、返せない人が減るようになってほしい。

・今、5歳の娘がおりますが、奨学金について知らない事が多かったです。親の経済状況で子どもに十分な教育を受けさせてやれないのは悲しいので、給付型奨学金制度が早期に創設される事を切に願います。

・大学生の半数以上が奨学金を利用しているとの事ですが、そもそも大学の授業料が高すぎると思います。この事が少子化にもつながっていると思う、本当に大学で学びたい人には安心して通える様にしてあげてほしい。

・無利子の貸与型奨学金の拡大を強く願います。利用基準を満たしているのに無利子の貸与型奨学金を受けることができないのは残念です。自分も無利子の貸与型奨学金のおかげで短大を卒業できたので、将来の子どもたちのためにもお願いしたいです。

・大学の学費は一般家庭にとっては高額です。現在2人に1人は奨学金を利用していると聞きました。卒業後、奨学金を返済するのは大きな負担だと思います。給付型奨学金制度を増やして学びたい人が学べるようにしてほしいです。

・お金をかりて大学が卒業できてもちゃんと就職できなければ返済できない。夢をもって働いてもお金の返済の事ばかり考えないといけない世の中だと働く意欲もなくなると感じた。今さらですが、なぜこんなに学費は高いのでしょうか。

・少しでも多くの子どもたちに教育の機会が与えられるように、国の対策を強化できるようにしてほしい。

・奨学金を借りてまでして、本当に通う価値のある大学なのか、今一度よく考えよう！卒業と同時に高額な借金を背負う事になるぞ～。人生のスタートがそれでいいのか～！

・学生ローンのような奨学金はやめること。無利子にすること。お金のバラマキはやめて、学生の生活環境を整える（外国の大学のように寮、食堂など生活の場を保障する、本当に学びたい人のために）大卒でないと就職が・・・ねこもしやくしも大学へ生活費、バイト（ブラック企業で）果たして勉強できるのか？あげくのはて返済不能。

・本当に一生懸命勉強するために奨学金を借り、大学で学んでいる方がどれだけいるでしょうか？借りる時によく理解し借りているのでしょうか？本当に勉強したい人に利用できると良い制度になると思います。学ぶということに高額な費用はかからない方がよりよい社会になるように思います。贅沢せず必要最低限の生活で貯めることをすればなんとかなるのではと思いますが・・・

・「OECD加盟35カ国のうち、大学の授業料が有償で国による給付型奨学金制度がないのは日本だけ」という事実を初めて知りました。子どもが進学する時は「奨学金を借りれば大丈夫」と安易に考えていたのでショックでした。早急に制度を改善してほしいです。

・奨学金の返済をめぐる問題がここ数年、マスコミでも取り上げられている事を知っていても深く関心を持たずに過ごしていた。社会人になって早々に借金を背負う問題など、この冊子で少し理解できた。今後の制度がどのように変わっていくのか早々にその創設が求められるよう学習会が必要と思う。

・そもそも大学の学費が無償という国が少なからずあるということに驚きました。日本もせめて奨学金を無利子にしてほしいです。子どもを産むかどうかの判断材料から“高額な教育費”というのがなくなればいいと思います。

・奨学金制度は大学に入学した学生にとって必要ですが、目的を持って入学したのですから受けた本人や親は返済に関しても責任をもって事情に応じて返済していく事が必要だと思います。

・以前、大学で海外からの留学生への奨学金を担当していました。何十種類もある奨学金は知る限りすべて給付型でした（公的、一般企業あり）。中でも日本学生支援機構という団体は高額で多人数に給付しています。財源はどこかは知らないのですが、日本人は貸与型が主なのに・・・と少々腹立たしく思います。留学生への支援を減らしたら無利子に変更できると思います。

・子どもが大学に通うためにこんなにもお金がかかるものなのかと具体的な金額を知り、びっくりしています。子どもたちが安心して学べる環境を作ってあげたいです。

・奨学金のお金は税金によって支出されるので奨学金制度が充実できれば税金が上がるのではないのでしょうか。日本の実情だけで外国はどうして奨学金が充実しているのでしょうか。

・借りても返済できない金額を「奨学金」という呼び方で若者に負の財産をおしつける金貸し制度である。呼称の変更と貸付条件の見直しを望む。

・夫と私、それぞれ貸与型奨学金を利用し大学に進学していたため、結婚した時2人合わせて約400万円の返済がありました。そのため子どもは1人はもうけましたが、2人目は諦めました。貸与型は本人だけではなく、日本の少子化にも関わる問題だと思います。

・少子化が進んでいる現在、教育は無償にすべきだと思うが奨学金に関しては借りたものは返す、返さない人がいると次へつながらない。ただし、奨学金は全部無利子にすべきだと思う。

・貴重な若い種が経済的な面で進学できず育たないということは、日本の発展にも良くないと思います。奨学金が継続していけるよう国の方でも制度の見直しや援助を考えてほしいものですね。

・国公立大学とも授業料の高さに驚きました。さらに施設費や生活費も必要です。安心して勉学、実習などに取り組めるよう、奨学金の給付や授業料の免除制度を設けてください。

・17、8歳で奨学金を借りるという判断をするのは難しいのではないかと。勉強をしたい！という子どもたちのためにもすべて給付型にできないものか。国からの補助、助成金をするなどもっと考えてほしい。

・大学にかかる金額が多いし、返すのにすごく苦労していることを知った。せめて有利子から無利子にしたらいいと思う。

・教育費がもっと安くなるといいなあと思いました。奨学金もみんなが利用してあまり負担がないようになるといいなあと思います。

・無利子になったらいいのに。

・教育費、特に大学（私立）進学に関わる費用が重いです。入学金、授業費など減らす必要があります。地方に住む方は都市へ出る事により住居などの費用もかさみます。

・奨学金の利子が無利子にしたり、奨学金を返せない人が増えていると聞くので、返済に関わる制度の見直しをしてほしい。

・奨学金を借りた人が卒業後の生活に苦しむことのないよう、無利子貸与型 or 給付型の制度が拡大することを望みます。

・多くのお母さんが将来の学業について悩んでいます。少しでも多くの子どもたちが増えるように未来をよくしてほしいです。

・給付型の奨学金というのも嬉しいが、やはり借りた物は返すということも大事だと思うので私は無利子の奨学金制度を受ける（拡大させること）が求められていると思います。

・大学生の半数以上が奨学金を利用していると知り大変驚きました。あらためて日本の教育費用の高額さを考えさせられました。将来のための進学で将来の足かせにならない仕組みを考えていかないといけないと思いました。

・奨学金の返済が大変で卒業後の学生たちが大変な事になっているという報道を聞き、今度のわが子の事も不安に思います。現在の実情と今後の話を聞いてみたいです。

・無利子の奨学金で統一できればいいのに。学費が高いのにプラス費用が増えて大変。夢や希望を抱いている学生に借金を背負わせてなぜ勉強しなければならぬのか、行政でういた税金で大学の奨学金の無償化につながればいいと思います。

・「赤毛のアン」ではじめて奨学金を知りました。奨学金＝給付というイメージだったので今の有利子の貸与型が半数というのを知り驚きました。給付型にする方が必死で勉強すると思います。

・現在の経済状況、雇用形態などを考えて奨学金制度も変えるべきだと思います。他国の制度を参考に日本も見直すべきだと思います。わが子の未来が不安です。

・学びたいと思う人、目標のある人の負担や不安の種になるのではなく、その力を借りることでもっとずっと前向きに進んでいける、頑張れる力の源になるような制度へと明るく変えていけるといいですね。

・簡単に貸すのではなく、本当に学びたい意欲と目標がある学生にはある程度の優遇を。

・私も大学 4 年間奨学金を借りて、とても返済が大変でした。なんとか完済しましたが、次は娘 2 人の学費が払えるか、心配になってきました。制度をぜひ見直して、子どもたちが安心して進学できるようにしてほしいです。

・奨学金というと聞こえは良いですが、現実にはお金を借りる借金です。借りた物は返すのが当たり前！！その覚悟がないのであれば借りない！！ましてや大学を卒業したところで正規雇用される保証はないのが現状なのはわかっていることなのですから・・・。「就職できないから進学」という安易な考えでお金を借りて返済できないのは国や制度のせいだという考え方に疑問を感じます。制度が変わってもお金は返さないといけないのですか

ら・・・。

・奨学金は無利子ではなく、それより返済額を少なくするように。有利子があること自体なくしてほしい。学生さんはみんな平等に学べるようにしてほしい。

・奨学金に有利子のものがあることに驚きました。無利子の奨学金は人数があり枠に入れないと有利子の奨学金を借りるしかない・・・そんな仕組みに疑問を感じました。アメリカ、ドイツ、北欧などのように無償、低額にはならないのでしょうか？

・結婚してもまだ奨学金を支払っている人を知っています。住宅ローンと奨学金、二重ローンに苦しんでおられました。給付型の奨学金を設けると共に無利子の奨学金を増やして就職後の返済を楽にしてほしい、また学費を安くする事が一番では？と思っています。お金がなければ大学に行けないのはかわいそうです

・今の日本では絶対必要な制度ですが、そもそも教育費が高すぎます。もっと国が負担すべきではないでしょうか？

・とても良い制度だと思いますが、利用しないよう頑張りたいです。

・無利子型の奨学金が増えると嬉しい！

・延滞や返済できないなどの問題を聞くと考えさせられます。17, 8の子に卒業後の返済シミュレーションまで理解できているのか分からない。結婚してからも支払っている話を聞くけど、進学したい気持ちも尊重したいから難しい問題だと思う。

・まさに 2 年後わが家も直面する問題です。すべての学生に公平な制度となると難しそうですが、国の財政が厳しいことが原因なら、高い教育を受けた次世代の若者を育てる事で、豊かな日本になれると考え、奨学金制度の充実を望みます。

・私の世代で奨学金を借りている人なんて程いなかったのに、今は人数も額も多くてビックリ。せめて利子無くすとか対策を考えないと 13 年～20 年も払い続けるなんて大変すぎる。

・奨学金と響きは良いが、借金と同じだから借りない方がよい。授業料がもっと安くなればよいと思う。

・大学生で奨学金＝借金、しかも返済が40代半ばまで・・・と思うと負担が重過ぎる。かと言って親にしたってものすごい負担。勉強にたいしてもっと「したい→できる！」環境にしてもらいたい。